

■ 川本喜八郎 プロフィール

1925年：1月11日渋谷区千駄ヶ谷に生まれる
1946年：東宝映画撮影所美術部勤務
1951年：飯沢匡に見いだされ人形絵本、CM製作などを始める
1963年：チェコ・プラハに留学、人形アニメの巨匠イジィ・トルンカに師事
1968年：「花折り」をはじめ、「鬼」(72)、「道成寺」(76)、「火宅」(79)
など、人形アニメーション映画を発表
1982年：NHK人形劇「三国志」人形美術担当
1988年：日中合作人形アニメーション「不射之射」監督
1990年：日本チェコ合作人形アニメーション
「いばら姫またはねむり姫」監督
1993年：NHK人形歴史スペクタクル「平家物語」
人形美術担当
1995年：日本アニメーション協会会長就任
2003年：連句アニメーション「冬の日」監督
2005年：人形アニメーション「死者の書」監督
2007年：長野県飯田市に川本喜八郎人形美術館オープン、館長就任
2010年：8月23日逝去
2012年：6月4日渋谷ヒカリエ8階川本喜八郎人形ギャラリーオープン



■ 川本喜八郎 人形ギャラリー

川本喜八郎（1925～2010）は、渋谷区千駄ヶ谷に生まれ育ち、人形美術家・アニメーション作家としてNHK人形劇「三国志」、「平家物語」などを手掛け、世界的にも活躍し、多くのファンを魅了してきました。渋谷区では芸術や文化を、気軽に身近で楽しむアーツスポットとして、川本喜八郎の生み出した人形をテーマごとに常設展示しています。

◆入館料 無料 ◆開館時間 午前11時～午後7時

◆休館日 無休（ただし年末年始、展示入替期間は除く）

◆所在地 渋谷区渋谷二丁目21-1 渋谷ヒカリエ8階

◆アクセス

東急東横線・田園都市線、

東京メトロ半蔵門線・副都心線

「渋谷駅」B5番出口直結。

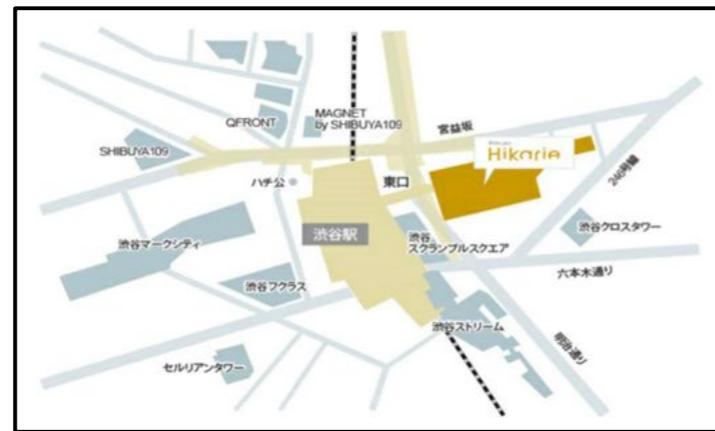
JR線、東京メトロ銀座線、

京王井の頭線「渋谷駅」と

2F連絡通路で直結。

◆問 渋谷区文化振興課交流推進係

☎03-3463-1142 ※平日8:30～17:15



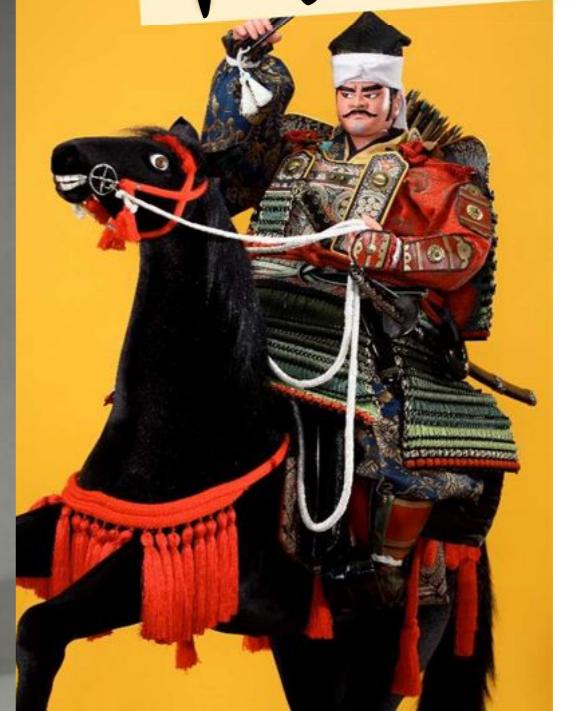
Puppet Master 川本喜八郎 人形ギャラリー

瓦版
No.15

三国志

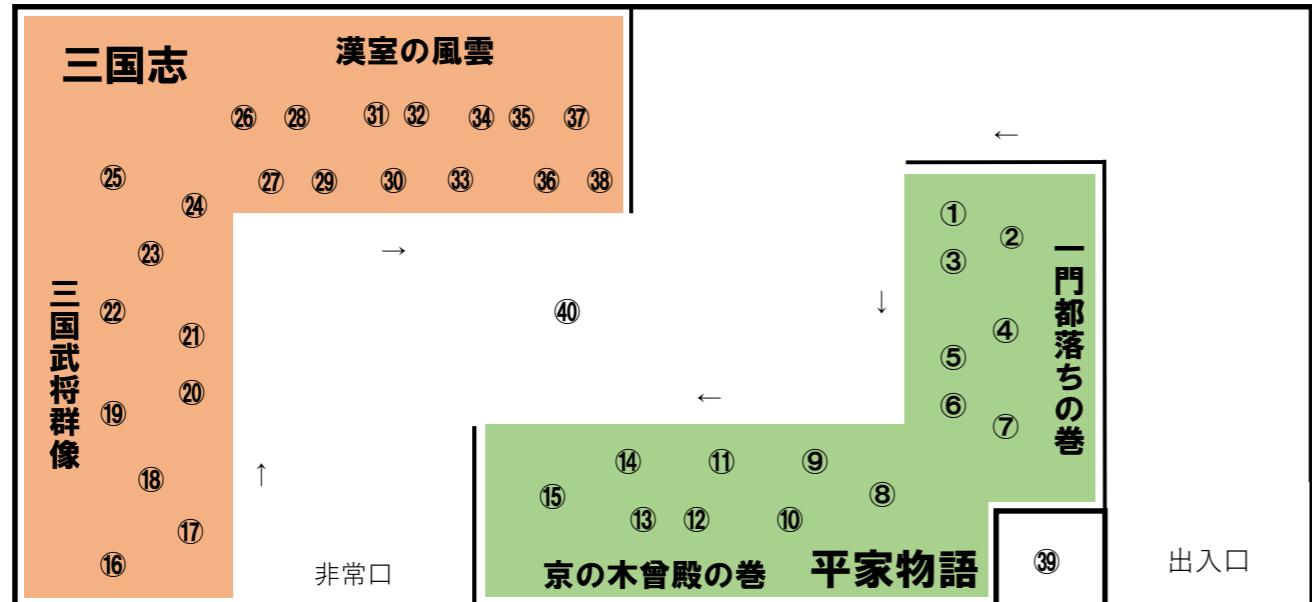


平家物語



ちがいを
ちからに
変える街。
 渋谷区
Shibuya City

第15回常設展 展示内容（令和2年8月22日～）



平家物語

流転 一門都落ちの巻

治承5(1181)年、平清盛という大黒柱を失った平家は、その後も敗北が続き、かつての威勢が失われつつあった。木曾義仲の入京が目前となった寿永2(1183)年7月25日払暁、三種の神器と幼い安徳天皇(数え年で6歳)を擁した平家一門は、六波羅と西八条の居館に自ら火を放ち、都落ちの途についた。二度と京の都を踏むことがかなわないのではないかと、果てしない愛惜の念を抱きつつ。西国への出帆に際して、旧都福原で亡き清盛を偲んで催す管弦の宴には哀調の音色が響き渡り、壮大な湊は、今は空しく平家を見送るばかりであった。機を見るに敏な後白河法皇は早々に平家に見切りをつけ、都落ち直前に姿をくらましていた。都落ちにまつわる悲話は、いずれも抒情性に富み、深い印象を残している。

①西行 ②平忠度 ③藤原俊成 ④守覚法親王 ⑤平經正 ⑥平頼盛 ⑦平維盛

流転 京の木曾殿の巻

寿永2(1183)年7月、破竹の勢いで念願の上洛を果たし、都を制圧した木曾義仲であったが、連年の飢饉によって食糧事情が悪化し、兵士の狼藉も相次ぎ、京の都は荒廃した。政の何たるかを知らぬ義仲にとって、都での日々は羽もがれた鳥同然であり、公卿たちから田舎者と蔑まれ、急速に人望を失っていた。後白河法皇との関係が決裂し、追い詰められた義仲は、ついに法皇の御所法住寺殿を襲撃。法皇を幽閉して勝利を得、叙位任官を思うがままに動かす天下人となったが、時すでに遅く、背後には源範頼・義経が率いる東国からの追討軍が、ひしひしと迫っていた。宇治川の戦いで敗れた義仲は北国で再起を図るべく落ち延びる途中、近江国栗津で悲壮な討ち死にを遂げた。享年31。挙兵から三年余り、上洛後わずか半年のことだった。

⑧葵 ⑨源資時 ⑩後白河法皇 ⑪源行家 ⑫木曾義仲 ⑬冬姫 ⑭藤原基房 ⑮巴

展示アドバイザーのひとくちメモ

今回の展示は、新型コロナウイルスの影響により会期途中でギャラリーを一時閉めたこともあります。今迄の展示はそのまま継続し、代わりに新しい展示ケースを設置し、そこに孔明さんを単独で展示しました。

人形の後ろ姿はなかなか観る機会がありませんでしたが、新ケースはどこからでも観ることができますので、お楽しみいただければ嬉しいです。

ちなみに、8月23日は10年前にお亡くなりになられた川本先生の命日ですが、奇しくも、孔明さんの命日と伝えられる日(旧暦)と同じ日になりました。

三国志

三国武将群像

「三国志」の大地を所狭しと暴れまわる武将たちの活躍は、君主にとって、軍師・謀臣たちの知略と車の両輪をなすものであった。曹操は自身が文武両道の英傑で、トップダウンの傾向が強かったため、その武将たちはいまひとつ影が薄いくらいなきにしもあらずだが、赤壁の大敗でも一人たりとも有力武将を失うことなく、その後も一貫して有利な情勢を展開することができた。裸一貫から乱世に打って出た劉備は、関羽・張飛・趙雲らと血族的な同志として結ばれ、その一心同体の関係は終始変わらず、劣勢ながら、最終的に鼎の一足をなした。孫權の政権は、土着豪族の連合体という側面があり、必ずしも君主の意のままになるものではなかったが、父兄の二代にかけて仕えてきた股肱に恵まれた。その時々に適材を得て、世代交代も順調に行われ、三国の中で最後までその命脈を保った。

⑯夏侯淵 妙才 ⑰夏侯惇元 譲 ⑱曹操孟德 ⑲趙雲子龍 ⑳許褚仲康 ㉑關羽雲長 ㉒關平
㉓劉備玄德 ㉔張飛翼德 ㉕典韋 ㉖黃蓋公覆 ㉗關澤德潤 ㉘孫權仲謀 ㉙徐盛文嚮

漢室の風雲

当時の後漢王朝は、外戚(皇后の一族)と宦官(去勢された役人)の二大勢力が宮中の実権をめぐって争い、庶民は苦しみにあいでいた。184年、張角を首領とする「黄巾の乱」が勃発した。数十万の黄巾党は官軍によって鎮圧されたが、各地の軍閥が力を得て、世は群雄割拠の様相を呈してきた。しかし、時の靈帝は暗君で、「十常侍」と称する10人の宦官の傀儡でしかなかった。帝が崩御すると、幼い皇子をめぐって、皇位継承の争いが繰りひろげられた。外戚の大將軍何進は自分の妹何後の生んだ辯皇子を推し、十常侍は別の妃の生んだ協皇子を擁立して対抗した。結局、辯皇子が即位して少帝となつたが、都に乗り込んできた董卓によって、少帝母子は殺害され、協皇子が即位して献帝となつた。

㉚蹇硕 ㉛段珪 ㉜趙忠 ㉝何后 ㉞弘農王(辯皇子・少帝) ㉟陳留王(協皇子・献帝)
㉚張梁 ㉛張角 ㉜張寶

*入口角ケース

㉚周瑜公瑾

*中央ケース

㉚諸葛亮 孔明

コラム 徹の部屋

合戦の際に最も重要なのは、古来「糧秣」(兵站線)であることはいうまでもありません。
まさに「腹が減っては戦はできぬ」のです。

「三国志」を遡ること400年、楚の項羽と漢の劉邦との間にでは、劉邦は優れた吏僚である蕭何の後方支援を一貫して受けたことで、最終的に項羽を滅ぼすことができ、建国後、並み居る諸将をさしあいて、彼は蕭何を勲功第一としました。「三国志」で、曹操がライバル袁紹との「官渡の戦い」を制したのも、有能なフレーンである荀彧が物資を補給し続けたのが、勝機をつかむことにつながりました。

「平家物語」の場合、都入りを果たした木曾義仲でしたが、折しも数年来の飢饉が続く中、その軍が兵糧米の備えを怠っていたために、粗暴な略奪行為を重ねるはめとなり、あっという間に人心を失って孤立します。周囲に有能な吏僚に恵まれず、民政能力や政治戦略の才が皆無に等しかったため、滅亡への道を辿っていました。

解説・監修：平井 徹(慶應義塾大学講師)

